

工事番号

考査項目	細 別	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策	<input type="checkbox"/> ①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> ②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ③安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由:
		詳細評価内容:
		a: 安全対策が優れている。 b: 安全対策が良好である。 c: 安全対策が適切である。 d: 安全対策がやや不適切である。 e: 安全対策が不適切である。
		評価= 評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。

工事番号

考査項目	細 別	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅳ.対外関係	<input type="checkbox"/> ①施工にあたり、近隣住民への騒音・振動等の防止対策に取り組む姿勢が顕著である。 <input type="checkbox"/> ②隣接工事に関連する工事関係者と適切な調整を行い、円滑に施工を行った。 <input type="checkbox"/> ③近隣住民対策を実施し、苦情等に対して適切に対応し、それらの記録も整備されている。 <input type="checkbox"/> ④官公署等の各関係機関との協議及び調整の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑤現場でのイメージアップに取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥工事目的及び内容を、工事看板等によりわかりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由:
		詳細評価内容:
		a: 対外関係が優れている。 b: 対外関係が良好である。 c: 対外関係が適切である。 d: 対外関係がやや不適切である。 e: 対外関係が不適切である。
		評価= 評価選択 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e ※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。

※1. 主任監督員は、監督員の意見を参考に総合的な評価を行う。

※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。

※3. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

工事番号

(特性1/3)

考査項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■建物規模への対応</p>	<p><input type="checkbox"/> 1.延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 2.地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 3.大空間のホール等を有する建物</p> <p><input type="checkbox"/> 4.その他(理由: _____)</p>
<p>詳細評価内容:</p>		
	<p>■建物固有の機能の 難しさへの対応</p>	<p><input type="checkbox"/> 5.対象建物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 6.建物機能の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 7.その他(理由: _____)</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
<p>詳細評価内容:</p>		
	<p>■建物固有の施工技 術の難しさへの対応</p>	<p><input type="checkbox"/> 8.建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】</p> <p><input type="checkbox"/> 9.設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 10.制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p><input type="checkbox"/> 11.その他(理由: _____)</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
<p>詳細評価内容:</p>		

工事番号

(特性2/3)

考査項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■ 厳しい自然・地盤条件への対応	<input type="checkbox"/> 12.水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 13.軟弱地盤、支持地盤の影響 <input type="checkbox"/> 14.雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> 15.その他(理由: _____) [評価技術事例] ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事
詳細評価内容:		
	■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応	<input type="checkbox"/> 16.地中埋設物等の作業障害 <input type="checkbox"/> 17.工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 18.周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 19.周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 20.その他(理由: _____) [評価技術事例] ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められてる工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
詳細評価内容:		

工事番号

(特性3/3)

考査項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■ 施工現場での対応	【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 21.12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 22.地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 <input type="checkbox"/> 23.工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 24.工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 25.休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 26.施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 27.特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 28.外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 29.特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 30.施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 31.同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 32.その他(理由:)
(最大 4点)	詳細評価内容:	
評点計= 点		

※1. 評点は1項目2点で評価し、その他は1点の評価とし、最大4点の加点評価とする。

※2. 「創意工夫」との二重評価は行わない。

※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。

※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

工事番号

(創意1/2)

考査項目	細別	評価対象項目
5.創意工夫	<p>■準備・後片づけ関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 1.測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 2.現地調査方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 3.その他</p> <p>理由:</p>
	<p>詳細評価内容:</p>	
	<p>■施工関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 4.施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 5.工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み</p> <p><input type="checkbox"/> 6.土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 7.建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 8.電気設備工事等の配線、配管等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 9.暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 10.照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 11.仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 12.運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 13.型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 14.施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 15.プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 16.仮設施工等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 17.既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 18.保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 19.作業の安全性向上のための施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 20.その他</p> <p>理由:</p>
	<p>詳細評価内容:</p>	
<p>■品質関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 21.集計ソフト等の活用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 22.躯体工事の品質管理の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 23.建築材料・機材の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 24.施工の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 25.品質記録方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 26.その他</p> <p>理由:</p>	
<p>詳細評価内容:</p>		

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
6. 法令遵守等	点数	措置内容
	◎	該当無し
	○ - 20 点	1. 指名停止3ヶ月以上
	○ - 15 点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満
	○ - 13 点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
	○ - 10 点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満
	○ - 8 点	5. 文書注意
	○ - 5 点	6. 口頭注意
○ - 3 点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合(措置なしとした案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)	
<p>① 本考査項目(6.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、受注会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(主任監督員からの文書注意、口頭注意等)は、主任監督員の評価対象項目である安全対策において減点をする。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・ 3. 労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・ 6. 建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等 ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 ・ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 14. 受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。 ・ 15. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・ 16. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。 ・ 17. 低入コスト調査で虚偽の報告があった。 ・ 18. 受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 ・ 19. その他 理由: 		